

## 農業農村整備事業関連情報

### 明日の農業土木技術者の育成（その1）

#### ～高校生を対象とした総合学習～

県央広域本部農林部農地整備課では、平成27年度から県立熊本農業高等学校の生徒を対象に、将来を担う農業土木技術者の育成を支援しています。

今年度は、第1回目を8月に実施し、ほ場整備の概要と暗渠排水の必要性や効果等について、第2回目は10月に農業用水路の排水計算等の講義を行いました。

12月12日に行った第3回目では、熊本地震からの復旧・復興の取組みと暗渠排水に関するDVDの上映、さらに、一昨年同校を卒業し県に就職した職員との意見交換会を行いました。

先輩職員から、「学生時代は測量や水循環等の専門が好きで、特に力を入れて勉強した。」「2年生の時の現場実習先が県央広域本部だったことで熊本県の仕事に興味を持ち、就職したいと思った。」「実際に就職してみてよいと感じたことは、職場の雰囲気がよく明るいこと、同校出身の先輩が周りに多いこと。意外だったのは、事務（現場）だけでなく、予算管理や設計書作成等の事務も多いこと。」「学生時代を振り返って、敬語の使い方をもっと勉強しておいた方がよかった。電話での応対等に苦労しているので、国語を意識して学んでほしい。」等の意見やアドバイスをしました。

生徒達は、年の近い先輩の話を熱心に聴き、「資格を持っているか？」「なぜ、農業土木を選んだのか。農業土木のよいところは？」「学生時代の成績はどうだったか？」「学生時代の勉強が就職してから役に立ったか？」など積極的な質問があり、活発な意見交換が行われました。

最後に、生徒から「ほ場整備や暗渠排水など勉強になった。学んだことを今後に生かしていきたい。」とお礼の言葉がありました。



DVD 上映



先輩との意見交換

#### 連絡

県央広域本部農林部農地整備課

計画調整班 後藤 健一郎、山形 慎也